

### ●京都水族館からヤマトサンショウウオの幼生 95 匹が放されました。

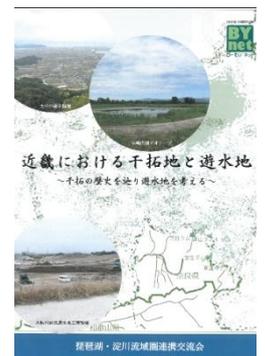
3月24日に卵囊を受け取っていただいて水族館で孵化させて大多数がエラがなくなっていましたので山に帰っていくでしょう。さらに厳しい環境を乗り越えて立派な成体になることを期待しています。放流予定の中にも成長が遅れてえら呼吸する3匹はワンドの池に放流いたしました。これも成長して間もなく山に帰っていくことでしょう。里山の会としてこうした野生復帰させた折には、できる限り調査観察を力の限り継続して見守っていく責任が伴うものとして、さらに力を注がなければならないと思います。このワンドには夜間撮影が可能なカメラを設置して撮影を行ってきましたので、再度その装置で見守りたいと思います。京田辺市では里山の会の手の届くところでの観察ですので、また里山の会が自力で保全観察を行うと決意いたしましたので会員の皆様のご協力を切にお願いいたします。お手伝いが可能な皆様ひとりでも多くご参加くださることをお願いいたします。ご連絡をください。



(やましろ里山の会事務所 TEL:0774-64-4183 E-mail:fddb257@yahoo.co.jp)

### ●6月8日琵琶湖・淀川流域圏連携交流会の定期総会が「さくらであい館」で開催され20人の出席でした。

2024年度事業報告では年間33回の取組が行われ世話役の理事会が毎月回されて総参加者450人だったと報告されました。また理事などの出身団体の会員総数は830人で多くの人びとに影響を及ぼしていることも明らかにされました。新年度2025年度の活動計画ではリレー見学会は大阪と滋賀県で3回の計画で、「さくらであい館」での情報交換会は第2日



曜日の開催、他団体との連携は3回の開催などが決定されました。滋賀・大阪・奈良・京都と上流下流の市民が淀川の水の恩恵を享受し、それぞれの活動を理解し連携を深められる場としての役割を再認識できました。また淀川河川事務所から大阪万博成功へ水路の整備工事が80%したとして講演が行われ、万一の災害時での対応策として淀川整備状況報告がされました。こうした広範囲に及ぶ数々の取組の要の役割を果たしていただいている丸井昌子さまの奮闘に対して出席者全員が感謝のお礼に強く大きな拍手を送りました。総会では京都産業大学教授鈴木康久氏から「八幡の水探訪」が紹介されました。ここには昔から交通の要衝とされた八幡の文化が根付いてきたところを水にかかわって詳しく解説されています。また交流会からはリレー見学会の「近畿における干拓地と湧水池」の冊子が配布され巨椋池の変遷と今日的な課題が提起されています。里山の会としては一度は読破しておいてほしい冊子です。事務所に備えています。希望者には進呈も可能です。

### ●京田辺市中央図書館から資料図書として「里山の自然」41冊の寄贈へのお礼が届きました。

これでNPO やましろ里山の会の29年間の活動が市民の皆様にご理解をいただくことが可能な体制が完成したことになります。

### ●6月6日（土）害獣予防対策をしました。

参加者：伊藤、太田、大村、小川、金田、播川、吉村

1号地・2号地には多くの夏野菜を植えていて、今のところ気温や太陽、雨などの条件に恵まれていること、それ以上に農園活動に参加して下さっている方々の手入れや思いといった肥料が効いて、元気に育ってくれています。それだけに、アライグマやイノシシなどの獣害は避けたいので、5月31日に続いて網目ネットを張り巡らせる作業を中心に実施し



ました。網目ネットは金網沿いに設置していますが、水路があり急こう配な斜面上で、踏ん張りながらの作業は見た目以上に疲れしました。ただ、怪我も無く終わることができました。それ以上に1号地・2号地を囲むことができたことに気持ち良い達成感を感じることができました。農園部会として、5・6・7号地にも網目ネットを広げることを決めました。準備ができ次第作業に掛かることとなります。皆様の力を貸してください。

その他の作業としては、16号地では七草の手入れや草刈りを丁寧にしてくださいました。また、ハンマーモアとトラクターの調子が悪いということで、原因を探ってくださいました。今週の土曜日（14日）に開催予定している「蛍の夕べと里山音楽会」のために9号地に上がる斜面の草刈りも参加者のことを思いながら実施してくださいました。



ところで、「ナオクサフジ」という植物をご存知でしょうか？ヨーロッパ原産で紫色の小さい花を咲かせる外来種です。飼料として日本に輸入されたものが各地に広がってしまったようで、繁殖力は強いとされています。この植物が里山農園でも至る所で目にするような状況になっています。やましろ里山の会としては、繁茂させまい！と出来る限りの対応をしていきたいと考えています。発見されましたら他の在来植物のために抜いてくださるようご協力お願いいたします。

### ●玉ねぎ完売 5月24日に掘り起こしを9人の皆さんで掘り起こしをいたしました。

300個が協力金をもってすべて完売できました。一部を京田辺市社会福祉協議会に小手調べとしてご寄付させていただきました。掘り起こして10日程度ですべて処理が出来ましたので、次年度には作付面積を1割ほど拡張して350本程度の植付け面積を計画してみることも考えなければと思います。うれしい出来事でした。

### ●蛍の夕べと里山音楽会 6月14日（土） 16:00（集合）～20:30（流れ解散） 参加募集50人 募集人数を越えました。

今年の参加募集は早々に定員を超えてしまいました。昨年は40人の参加でしたがそれを超えての申込になりました。

一昨年と昨年連続して木下さんをリーダーのキジムーバンドが3年連続の出演となりましたので、出演者の皆さんがより楽しい催しの盛り上げの工夫をこらそうと創作のための準備に取り組んでいただいています。小さいお子さんもお父さんもお母さんも三線のリズムに乗って楽しくひと時を愉快地過ごしましょう。そして人工の手が加わっていない自然の中で飛翔するホタルに出会えればうれしいですね。ホタルは成虫になってわずか5日しか生命が続きませんので、その間に交尾相手を見つけて来年光り輝いてくれるために発光しているのです。人間は自動車のウインカーでホタルをおびき寄せようとする方が多数おられます。悪ふざけは避けねばなりませんね。注意をしましょう。今年の気候は大変暑かったですね。今年はどうのように影響が表れるでしょうか。滋賀県の認定NPOの琵琶湖豊穰の郷では平均より少し早くなったようだという事です。京田辺では14日頃が見ごろだといわれています。